

編集・発行 名古屋徳洲会総合病院 心臓血管外科 術後の会
〒487-0016 愛知県春日井市高蔵寺町北2-52
TEL:0568-51-8711 FAX:0568-51-7115
URL: <http://www.nagoya.tokushukai.or.jp/>

コンテンツ 2P……術後の会報告①
3P……術後の会報告②
4P……術後の会幹事便り①
5P……術後の会幹事便り②
6P……術後体験記①
7P……術後体験記②
8P……御挨拶

第18回 心臓血管外科術後の会

～昼神温泉郷 湯元ホテル阿智川～



平成29年10月7日(土)、18回目となる心臓血管外科術後の会を昼神温泉郷湯元ホテル阿智川にて開催し、患者さん、スタッフ、総勢200名が参加されました。

心臓リハビリテーションについての医療講座から始まり、皆さんより事前に寄せられた術後の悩みについて、大橋総長はじめ、専門スタッフより悩み解決の糸口につながるよう回答させて頂きました。

その後、スタッフが見守る中、温泉や、アロマテラピー(ハンドマッサージ)で癒しの一時を過ごして頂きました。

懇親会では、美味しいお食事をしながら、患者さんより体験談のスピーチをして頂いたり、スタッフ、患者さん同士で親睦を深めることができました。最後は、吟遊打人 塩原良さんによる和太鼓ショーで幕を下ろしました。今回も皆様のお元気な様子を伺い、たくさんの元気を頂きました。また次回も再会できることを楽しみに帰宅の途に着きました。



第18回 心臓血管外科術後の会 医療相談会

平成29年10月7日(土)、第18回心臓血管外科術後の会で開催された『医療相談会』で、患者さんからいただいた様々なご意見・ご質問に対して、医療スタッフが答えさせていただきました。術後で不安に思っていることなど、同じような悩みをお持ちの方が多くみえました。今回は、患者さんからいただいた様々な質問に対する回答の一部をご紹介します。今後のご参考にしていただけたらと思います。

ICU 看護主任 水野知香



質問

大動脈解離術後の場合は再手術が必要なことがありますか？

回答

救命のための手術なので、術後、他の大動脈が瘤として大きくなれば再度手術が必要になります。症例によってはカテーテル治療もできます。1年に1度はCT検査でチェックしてください。前兆は痛みですが、無症状のことが多いです。

質問

弁置換術後の弁はどれくらい持ちますか？弁の調子が悪くなった場合、どのような症状がでますか？

回答

2～3割の方が15年で交換が必要になります。早くて5年の方もみえます。個人差があります。僧帽弁の方は、大動脈弁の方より弁にストレスがかかるので再手術の頻度が多いです。現在カテーテル治療が進んでいるのでカテーテル治療ができる症例もあるかと思えます。症状としては、ゼイゼイという呼吸苦がでます。そういった時は受診してください。

質問

利尿剤はずっと飲み続けますか？

回答

手術後はむくみが出ますので、しばらく利尿剤を飲んでもらいます。但し薬の種類によっては減ることもあります。かかりつけ医で診察している場合でも、1年に1度はお薬手帳をもって当院の受診をお勧めします。診察結果次第で、薬の調整を提案させていただきます。

質問

減塩食について簡単な料理方法などを教えてください。

回答

減塩の工夫としては、塩分を多く含む調味料や漬物などの加工品を減らすことが重要です。お酢やレモン、生姜などの香味野菜を使うと、違った風味を感じられ、お料理を楽しめると思えます。

心臓血管外科術後の会の参加者は年々増加しており、多くのご意見・ご質問が寄せられるようになりました。当会では、みなさんが抱えている不安や疑問を解決できるよう多職種のスタッフよりお答えしており、回答を聞かれた後に、参加者の方がホッとした表情が見られることを嬉しく思います。是非、来年もご参加をよろしくお願い致します。

第18回 心臓血管外科術後の会では多数のイベントを開催



▲医療講座『心臓リハビリテーションについて』
リハビリテーション科室長 大竹浩史



▲アロマセラピー(ハンドマッサージ)で、
香りとマッサージを楽しむ様子



▲温泉を楽しむ様子



▲乾杯の挨拶
心臓血管外科部長 只腰雅夫



▲総勢200名による懇親会の様子



▲和太鼓ショー 吟遊打人 塩原良さん

術後の会 会長挨拶

ご挨拶

術後の会会長 松原 光男



春雨降りやまぬ候、時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。毎々格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年は、第18回心臓血管外科術後の会を昼神温泉にて開催することが出来ました。私は、体調不良により出席することができず大変残念に思っております。しかしながら、全員が参加できる医療相談会や、ハンドマッサージ、和太鼓ショーと企画も盛り沢山で、徳洲会病院スタッフとも交流することができたことと思います。

私自身も振り返れば、平成12年1月に緊急手術を受けてから18年が過ぎました。今は、寒い季節のせいか、約2kmを歩くのが精一杯ですが、1日1回10分程度は歩くよう頑張っております。皆さんも頑張りましょう。

術後の会 幹事便り



心臓手術を経験して

～術後6年経過して～

術後の会幹事 中込 則一

平成23年12月1日、旅先の岐阜県中津川のサービスエリアで倒れて、救急車で運ばれ、名古屋徳洲会総合病院心臓血管外科にて、「急性心筋梗塞」ということで、大橋総長執刀で緊急手術を受け、1ヵ月の入院を経て無事に退院することができました。

入院中には、大橋総長、心臓血管外科チームの先生方、看護師さん、スタッフの皆様には、笑顔で献身的な看護をしていただき一命をとりとめることができました。

手術をしてから早や6年が経ち80歳という年になりましたが、毎日健康で過せていることに、感謝の念でいっぱいです。その後、「術後の会」の幹事もやらせていただき、年2回の役員会には、どんなことがあっても参加させていただいております。時には快く相談にのっていただいたりしております。

これからは救っていただいた命を大切に、食生活、運動の正しい生活習慣を心掛け、世の中にどんなことでも、お返しが出来たらと日々考えています。長野県の小諸市からは、遠いですが、こんな素晴らしい病院が近くにあればどんなに心強いかと思います。



手術に関わった皆様へ

～心臓血管外科開設20周年お祝いを申し上げます～

術後の会幹事 宮崎 了諦

立春の声が聞かれるにも拘わらず、全国的に天候最悪の状態、皆様方にはご健勝にてお過ごしのことと思いますが、体調悪くされた方も多いのではないかと危惧の念を抱いております。

此度、『ハート通信』で記事の執筆を依頼され、若輩ながら筆を取らせていただきました。皆様方は広報誌『かすたねっと2018年2月号』をご覧になられたでしょうか。表紙を捲ると心臓血管外科診療科報告、開設20周年を迎えと題して、総長大橋壯樹先生のご挨拶、手術について、最後に、20周年の歩みと書面がありました。その中の、最後に大橋先生の生命に対する苦悩があり、常に健康管理の重要性を考えなければならないと感銘を受けました。



▲広報誌かすたねっと2018年2月号

続いて、当院の手術に関わった主な先生方の現在の状況が紹介されています。何よりもまずは、20周年にお祝いを申し上げます。

筆者の私の知らない事が多く大変な御苦労の中で、平成10年(1998年)心臓血管外科が開設されて以来、2017年4月の「かすたねっと」には、「いい病院2017」当院の心臓血管外科手術成績が全国ランキング15位、東海地区ランキング第2位、ペースメーカー治療東海地区4位と発表され、名実ともに他の病院を寄せ付けぬ最高の病院となりました。

心臓血管外科開設2年後かと察しますが、総長大橋先生の発案により、心臓血管外科手術後の患者さんに対する絆の証として、「術後の会」の名称で、会を設立、去年で18回目の開催となりました。集いで参加の方々には多種多様な条件と1分1秒を争う事態も受け入れ、救われた方も多く、資料を見ますと平成19年から29年までの術後の会に参加されました人数は1,850人にもなります。諸先生方にお世話になり、退院までのお力添えを頂いた各セクションの皆様、こんなに元気になり、第2の人生を歩んでいますと姿で感謝を申し上げ、良かった良かったと優しい眼差しと温かい思いやりの心で喜びを笑顔に見せていただき又、絆が生まれました。



▲美味しい食事で歓談

先生方のお話、各セクションからのアドバイス、質疑応答を終えるとテーブルを囲んで、美味しい食事、アトラクション、体験談の発表、全員での記念写真、和気あいあいと時間を惜しみながら次回の再会を約束し解散。ハート通信は年2回発行され、その都度医療の紹介、研究される医療技術の発表、各部門よりアドバイス、術後の体験談が記載されています。筆者の私も会員になり、第2の人生として3年が経過し、いい病院との巡り合いに皆様から羨ましがられ胸を張って威張っています。「継続は力なり」術後の会が永く永く皆様方のお力とご理解で開催できることは心臓血管外科が広く増々の信頼も得て反映される事が何よりと念じております。皆様方の健康と幸せを祈念し執筆を置きます。



▲和気あいあいな様子

術後体験記

※筆者は、写真の人物とは
異なります



Y.Sさん 女性



職場で受ける定期検診の際、心臓に異常音があると言われてきましたが、日常生活に支障なく、放ってありました。今回、脊柱管狭窄症の手術を受けるのに術前検査、心臓エコーで、心臓の手術を受けてからでないと出来ないと言われM病院に行きましたが、私が無輸血治療を望んだ為、却下されてしまいました。

次にN病院に紹介状を書いてもらっていきましたが、何かあった際には輸血するとの事で、困り果てていました。でも私の気持ちを受け止めて下さる医師がおられるということで、徳洲会にたどり着くことができました。私には糖尿病のリスクがあり、それを心配していましたが、術日を延ばして下さり、血糖値を下げて万全45分とスムーズに行われたようです。術後回復も順調にすすめてもらい、感謝でいっぱいです。大橋先生、小谷先生、スタッフの方々、ICU、病棟の看護師さん、本当にありがとうございました。



K.Yさん 男性



入院中、全てのスタッフの方々には、その都度本当に適切な対応して下さい、心から感謝しております。食欲のない時には、食事のアンケートや、栄養士さんが気配りして下さい、不眠の時は、氷枕など、皆さん笑顔で励まして頂きました。私の病状を皆さんが把握して、不安を与えないように接して下さいのおかげで、度々に生きる力が湧いてきました。

また、退院の時には、きちんと納得いくまで詳しく説明して頂き、本当に安心しました。

この病気で手術して頂けたことに心よりお礼を申し上げます。



M.Nさん 女性



毎日寒い日が続きますが、お元気でしょうか？人生初の手術、入院、不安いっぱいの私でしたが、スタッフの皆様の本当に親切な看護のおかげで、無事入院生活を送れました。

又、退院後も電話等のケアもあり、本当に嬉しかったです。

私も3月から会社復帰します。お身体を大切にこれからも笑顔で頑張ってください。又、お会いできる日を楽しみにしています。

術後体験記

※筆者は、写真の人物とは
異なります



M. Hさん 男性



夜中に胸が苦しく、救急車で当院に。不整脈が一時落ち着き、翌日精密検査の結果『大動脈弁狭窄症』との診断を受けました。手術は1月9日に行われ、20日後には退院し、今は自宅にて静養中です。病院スタッフの方々に守られて、ここまで回復できたことを心から感謝いたしております。



M. Sさん 男性



緊急手術からの約1ヵ月間、医師、看護師、療法士他、3階職員の皆様には大変お世話になりました。

釣りにゴルフ、そして何より仕事に生きる祖父であります。大病を患い手術後には全身の痛み、慣れない高気圧酸素療法、排尿障害、下半身麻痺と苦しみ、心が完全に折れてしまっておりました。そんな時に祖父を励まし、支えてくださったスタッフの方々には大変感謝しております。作業療法士の先生、理学療法士の先生には、いつも熱心に粘り強く指導していただき、おかげさまで祖父も前向きに、真面目に笑顔で取り組めるようになり、想像以上に早い回復を見せてくれます。本人はもとより家族一同大変感謝しております。

大動脈瘤の症状が落ち着き、リハビリに集中できる状態になりましたので、地元の病院へ移ることになりました。今後は自宅から近い専門病院にて、更に気合いを入れ、目標に向かって前向きにリハビリに専念できるかと思えます。

徳洲会病院の心臓血管外科の評判は以前より聞いております。今後またお世話になることがあられるかもしれませんが、その際は宜しくお願い致します。

3階病棟は大変お忙しいと存じますが、皆様におかれましてもくれぐれもご自愛下さいませ。



N. Dさん 男性



心臓バイパス手術を受け、医師の皆様、看護師、他多数の方々の温かく心の優しい御尽力により順調に回復し、8月退院するに至ったことを心より厚く御礼申し上げます。

今後は、体調等に十分に留意し、明るく健康な生活を送りたいと思っております。

ご挨拶

心臓血管外科 総長

大橋 壯樹



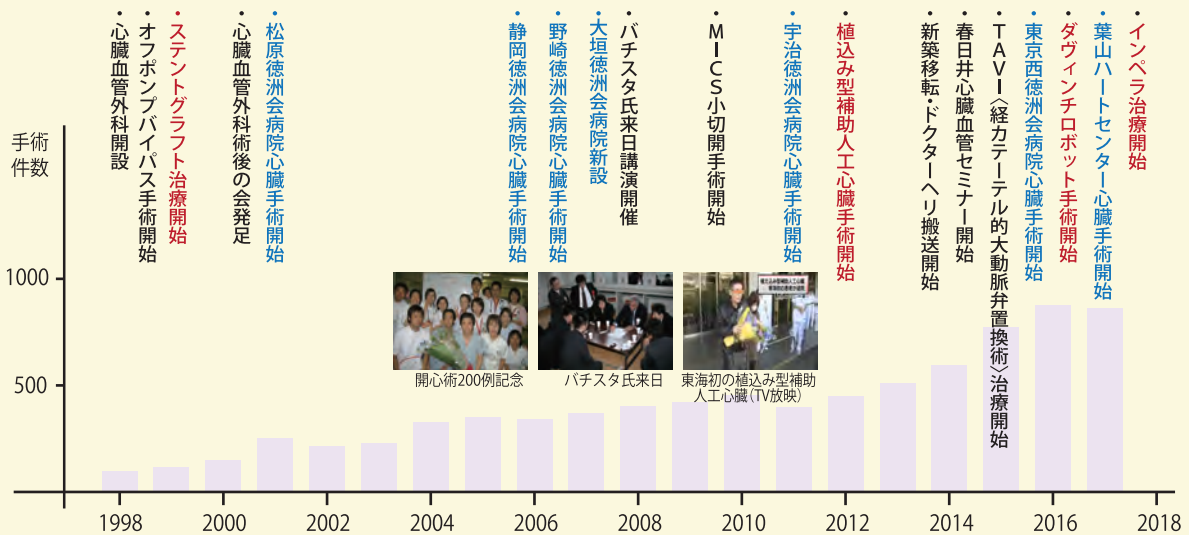
平成10年(1998年)より心臓血管外科を開設させていただき今年で20年になりました。この20年間で8000例以上の手術をさせていただきました。20年前に手術をさせていただき今でもお元気にされている患者さんも多くいらっしゃいます。同じ地域で長きにわたり数知れない多くの患者さんと出会えたことは私にとって貴重な宝であります。しかし、手術をさせていただいたにも関わらず命を救えなかった患者さん、合併症で後遺症を残された患者さんも少なからずおられます。この長年の経験と反省で得た診療技術をさらに熟練させ、今後手術に立ち向かわれる患者さんに少しでもお役にたてるように精進してまいります。



▲心臓血管外科医師

《心臓血管外科 20年の歩み》

※赤字は東海エリア初 ※青文字はグループ病院で心臓手術開始



当院で心臓血管外科手術に関わった主な医師たちの現在

<氏名>	<在籍期間>	<現在籍病院>
坂本 宣弘	(1998~2002)	名古屋市立大学病院 外科助教
大野 貴之	(2001~2004)	三井記念病院 心臓血管外科部長
吉田 毅	(2004~2005)	松原徳洲会病院 院長
平井 康隆	(2004~2011)	野崎徳洲会病院 心臓血管外科部長
坂倉 玲欧	(2005~2008)	心臓血管センター金沢循環器病院 心臓血管外科部長
景山 聡一郎	(2007~2016)	東京西徳洲会病院 心臓血管外科部長
古井 雅人	(2008~2015)	松原徳洲会病院 心臓血管外科部長
小林 豊	(2011~2012)	宇治徳洲会病院 心臓血管外科部長
内野 学	(2013~2015)	松原徳洲会病院 心臓血管外科医師
飯田 浩司	(2014~2017)	葉山ハートセンター 副院長
石黒 芳紀	(2007~2014)	自治医科大学附属さいたま医療センター 麻酔科教授

《名古屋徳洲会
心臓血管外科グループ》
年間の心臓手術総数 2053件
(2017年)【開心術 814件】

